



ゆきぐに大和病院だより

理念

私たちは、自然のうるおいの中で、
人それぞれの希望に満ちたくらしを支え、地域医療を推進します。

2013

9月号

プレホスピタルケア

麻酔科部長 二神 信夫

はじめに

みなさんは、9月9日という何の日を思い浮かべますでしょうか？五節句の一つ、菊の節句を思い出す方もいらっしゃるかもしれませんが、9（きゅう）と9（きゅう）で「きゅうきゅうの日」↓「救急の日」となっています。「救急の日」は昭和57年に制定されました。この日の前後1週間が救急医療週間となり、全国各地で救急関連の講習会などが行われています。南魚沼市では9月8日に救急に関するイベントが行われます。今回は、救急医療に関連した「プレホスピタルケア」について説明させていただきます。



「プレホスピタルケア」とは

日本語では、「病院前救護」となります。医療は、年々進歩していますが、あらゆる病気は早期発見、早期治療が基本になり

ます。そのため、救急医療では、病院に到着する前のいろんな対応が重要視されてきました。つまり、「病院前救護」↓「プレホスピタルケア」を充実させることが、救命の基本になります。従って、最初の発見者の役割が大事になります。

発見者の役割

救急現場では、発見者が迅速に119番に通報をすること、発見者による心肺蘇生、自動体外式除細動器(AED)を使用することで、病人やけが人の命が助かる可能性が高くなります。一方でAEDは万能ではありません。心室細動という不整脈による心停止について有効です。その他の原因による心停止については、AEDは適応ではありませんので、皆さんの心肺蘇生が不可欠です。119番通報後は、救命救急士の役割になります。



救命救急士の役割

時代的に、「プレホスピタルケア」の重要性が提唱され、平成3年に救命救急士法が制度化されました。救命救急士に医療行為の一部を行ってもらい救命率の向上や後遺症の軽減を図っています。救命救急士が行っている医療行為は、特定行為と言われるものです。医師の具体的指示で行われるもので、心肺機能停止における「道具を利用した気道確保と」、「静脈路確保と点滴」、「エピネフリンの投与」になります。今後は、「血糖測定と低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与」、「心肺機能停止前の静脈路確保の実施」などが、救命救急士の処置範囲に追加される予定です。これらにより救命活動が、更に充実していくと考えられます。

最後に

救急車がどんなに早く現場に到着しても、どんなに早く病院に搬送しても、みなさんの「プレホスピタルケア」が、救命の大きな鍵になります。日頃から、心肺蘇生やAED使用などの講習会に積極的に参加していただき、手技を熟知していただければ幸いです。



診療日のご案内

入院患者さまとの面会は、
月曜日～金曜日：15：00～20：00、
土曜日・日曜日・休日13：00～20：00
となります。（時間厳守）

説明	診療科に対する曜日欄の記載は、○＝診療日、—＝休診となります。 ○と（休診有）の記載がある場合は、当月に臨時休診があります。備考欄で、休診日をご確認ください。 また、曜日欄に「日付」の記載がある場合は、記載の日のみの診療となります。
-----------	--

整形外科		月	火	水	木	金	土	受付	診療	備考・休診日	
一般外来	予約外	○	10名で 受付終了	○	○ (休診有)	○	新患のみ	8:00～10:00	①②③④9:00～ ⑤⑥⑦⑧⑨⑩10:20～	休診＝5日(木、19日(木)) ※一日15名で受付終了	
	予約	○	○	○	○	○	—	予約方法は、P3上「予約 または予約変更について」 をご参照ください。			
専門外来	脊椎	—	3日・17日	—	—	—	—	予約制 予約方法は、P3上「予約 または予約変更について」 をご参照ください。	10:20～		
	上肢	—	—	—	○	—	—		9:00～		
	足	—	—	—	—	—	14日				
	リウマチ	—	—	—	—	—	7日・21日				
	退院後	○	—	—	—	—	—				
	人工関節	—	—	○ (休診有)	—	—	—				休診＝25日(休)
骨粗しょう症	—	—	—	○ (休診有)	—	—		休診＝26日(休)			

形成外科		月	火	水	木	金	土	受付	診療	備考・休診日
		—	—	—	—	○	—	13:00～14:30	13:30～	

★子どもの予防接種日程

予防接種	接種日	受付時間	接種時間
3種混合 (ジフテリア・百日咳・破傷風)	9月6日(金)	13:20～ 14:00	13:30～
	9月20日(金)		
ポリオ	9月6日(金)		
	9月20日(金)		
4種混合 (ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ)	9月6日(金)		
	9月20日(金)		
麻しん・風しん混合 1期 2期	9月27日(金)		
日本脳炎	9月13日(金)		
B C G	9月27日(金)		

医師別の診療予定が必要な方は、医師(名字)・診療日(数字)が記載された一覧を、医療連携室に用意してあります。

病院休診日のお知らせ

16日(月) 祝日・敬老の日 第3月曜日
23日(月) 祝日・秋分の日

※各診療科の休診日は、「診療科・診療日の案内」の最右「備考・休診日」欄でご確認ください。

※予約が必要です。予約・お問い合わせは、医事課まで。

※小児のヒブ、肺炎球菌、中学生の子宮頸がん予防接種は上記日程全般で行います。

※4種混合予防接種について、全国的にワクチンの供給量が十分でない状態が続いておりましたが、このたびワクチンの安定供給が可能となりましたので、ご希望に沿えるようになりました。

予約外で、複数科の診察を希望される場合について
原則は2診療科までとなります。

医事課・外来受付窓口

当院では、患者さまが安全に混乱なく受診できますよう、当日受付で複数診療科受診をされる場合、次のような取扱いとさせていただきますので、ご了承ください。

○当日受付で複数診療科の受診を希望される場合

①午前中の受診は2科までとします。

ただし、午前・午後に分かれて3科以上の受診は可能とします。

②午前10時過ぎに受診を希望の場合は、優先順位を決めさせていただきます、場合により2科目は受診(受付)ができないこともあり、ご了承ください。

○理由

- ・患者さまから診療を安全に混乱なく受けていただくため。
- ・担当医師によっては、診療可能時間に制約があるため。
- ・診療業務が煩雑となり、他の患者さまの診療への影響があるため。

予約だと3科受診も可能な場合があります

予約の場合は、予約時間の調整がつけば3科までは可能となります。例えば1科目9時、2科目10時、3科目11時などであれば可能です。1科ごとに30分枠で予約を組み合わせることから、カルテ準備・連絡等の関連業務の調整ができた場合、受けさせていただいております。しかしながら、なるべく2科までとなりますよう、ご協力をお願いします。



平成25年9月

診療科

予約または予約変更について

受付日時：予約または予約変更をしたい診療科が診療している日(月～金曜日)の、午後2時～4時(歯科は歯科の受付欄参照)
 方 法：電話にて受け付けます。
 ※予約変更は、「やむを得ない」場合に限りです。

ゆきぐに大和病院 代表

TEL 025-777-2111
FAX 025-777-3853

内 科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備考・休診日
一般外来	○	○	○	○	○	○	8:00～ 11:00	9:00～	
内分泌 糖尿病	午前	○	○	○	○	—	13:00～14:30	13:30～	
	午後	—	—	○	—	—			
循環器科	○	備考参照	○	○	—	7日・21日	8:00～ 11:00	9:00～	火曜日=予約制
腎臓科	—	—	—	—	6日・27日	7日		10:15～	
呼吸器科	—	—	—	○	—	○		9:00～	初診は予約が必要
神経内科	○	○	—	○	○	—		13:30～	休診=26日(木)
睡眠時無呼吸	—	—	—	○ (休診有)	—	—	予約制 (3ページ上の記事参照)		

和漢診療科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備考・休診日
午 前	○	○	○	○	○	○	8:00～11:00	9:00～	
午 後	○	○	○	○ (休診有)	○	—	13:00～14:30	13:30～	休診=5日(木)、26日(木)

精 神 科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備考・休診日
一般外来	—	○ (休診有)	—	○	○	○	予約制 (3ページ上の記事参照)	9:00～	休診=17日(火)
メモリークリニック	○	—	○ (休診有)	—	○	—		①② 9:30～ ③ 13:30～	休診=18日(水)
高次脳機能障害科	9日	—	—	—	—	—		13:30～	

外 科 胃 腸 科 肛 門 科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備考・休診日
	○	○	○	○	○	○	8:00～11:00	9:00～ 2日⑧、第1・3⑨ 10:00～	

小 児 科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備考・休診日
一般外来	○	—	○	—	○	○	8:00～11:00	9:00～	
午後	—	—	—	—	○	—	予約制 (3ページ上の記事参照)	14:00～	

婦 人 科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備考・休診日
一般受付	—	—	—	—	○	○	8:00～11:00	9:15～	予約優先
予約制	—	○	○	○	—	—	予約制 (3ページ上の記事参照)	④ 9:15～ ⑤⑥ 10:30～	

眼 科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備考・休診日
予約制	—	—	—	—	—	○	予約制 (電話予約可 月～金曜日 14:00～16:00)	9:00～	当院眼科医師より 再診の指示がある方のみ

耳鼻咽喉科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備考・休診日
午 前	—	—	—	—	—	○	8:00～11:00	9:00～	
午 後	—	○	—	○	—	—	13:00～15:00	14:00～	
皮膚科	—	○	○	—	○	—	8:00～11:00	9:00～	
泌尿器科	—	—	—	○	—	—			

歯 科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備考・休診日
歯科・小児歯科	○	○	○	○	○	○	予約制 (電話予約可 10:00～12:30 13:30～16:00)	9:00～	
矯正科	—	—	11日・18日・ 25日	—	—	—			
歯科口腔外科	○	○	—	○	○	○			

市立病院群のあり方住民説明会

問答報告

大崎地区編

市立病院群再編に向けて開催された地元住民説明会の内容を掲載します。

今回は大崎地区の内容で、参加者は45名でした。

●期日 3月24日(日)
●会場 大崎 農業会館

新病院と基幹病院の関わりについて

問：基幹病院は紹介状が必要だと聞きましたが、どうなのでしょう。

答：基本的には必要となります。大和地域の新しい病院にない診療科については、基幹病院に「紹介状なし」で受診できるよう協議していきます。また、「紹介状なし」で受診できる場合もありますが、初診料が今より高くなります。一度紹介状を持って受診すれば、以後はそのまま継続して受診することができます。

二つの市立新病院と基幹病院の関わりについて

問：大和地域と六日町地域の新しい病院相互の外來関係、基幹病院との関係はどうなるのですか。住民は、今までどおり気軽に受診できる病院を望んでいます。周辺への経済効果などはあまり興味がありません。

答：公立病院は社会的な役割が高く、不採算部門を担っています。医師の確保が重要ですが、良い病院にしないと良い医師が確保できず、病院として成り立たなくなりますが、大和地域の新しい病院は、基幹病院や萌気園と機能分担をする予定です。高齢者の入院や在宅医療などを中心に行い、老人保健施設で介護が必要な方の受け入れ体制も考えていきたいと思えます。

いお知らせします。大和地域の新しい病院と六日町地域の新しい病院の関係については、医師がそれぞれの病院間を移動する形態とし、患者さまが移動することなく受診できるようにしたいと思います。

高齢化と利便性について

問：今後も高齢化が進みますが、老人などが安心して暮らせ、安心して受診できる医療をめざしてほしいと思います。

答：ローテーションで医師が六日町地域と大和地域を移動するようにしたいと思います。受診科など基幹病院と調整し、「病院だより」等でお知らせします。

問：現在の大和病院はありがたいし、評価も高い。大和地域の新しい病院が現在の形で継続することを望みます。大和地域の新しい病院は診療科が少なくなるようですが、なかなか六日町地域までは行けません。合併してから状況が悪くなるばかりです。眼科などは高齢者が多く、受診しにくくなり不安です。基幹病院にどのような診療科があるかもわからず不安です。

答：大和地域の新しい病院にない診療科については、基幹病院に「紹介状なし」で外來受診できるよう調整します。三次医療の大きな病院でも、周辺に医院が少ないため外來が非常に混雑しているところがあります。軽度の症状は診療所へ、その次は大和地域の新しい病院へ、その次は基幹病院へと、程度に応じて受診する医療機関を変える(役割分担)ことで混雑を避け安心して受診できる環境作りを進めたいと思えます。大和地域が衰退するのではなく、長岡市まで行かなければならない救急患者も大和地域で間に合うことになりました。

問：行政的な考え方では困ります。医療機関を変えることは、住民にとって二重の負担になります。

答：脳や心臓など緊急を要する場合は、長岡まで行かなくとも近くの病院で対応できる方が良いのです。また、お産には産婦人科、小児科、麻酔科など医師チームの体制が必要ですし、その環境が整った病院が必要で、大和地域の新しい病院は高齢化に合わせ、訪問診療

や相談など、今の大和病院で行っていることをさらに充実させていきたいと思えます。住民の利便性を考え、不安がないよう体制を構築していきたいと思えます。

産婦人科について

問：現在六日町病院にある産科がなくなるようですが、今後どうなるのですか。

答：基幹病院で対応することになります。

問：産科も紹介状が必要ですか。

答：不要だと思われま。

建設場所と病院バスについて

問：場合によっては六日町地域、大和地域の両新病院を受診しなければいけない状況も予想されます。交通手段はどうするのか。また、送迎バスなど患者輸送体制を検討していただきたい。地域医療をさらに進めるといふことであれば、浦佐駅付近など新しい場所に建設した方がよいと思えます。どの程度まで話が進んでいるのですか。

答：市民バスは、市役所・都市計画課で見直しをしています。決まりしだいお知らせします。建設場所は、できるだけ不便を生じさせない場所にしたいたいと思えます。非常勤医師の確保も考慮しながら選定しています。

要望：浦佐は、10数年前に都市計画事業を行ったが未発展のままです。病院が駅付近に移ることで医師も通勤しやすいし、道路等も整備され周辺整備にもつながり住環境も良くなります。その点を考慮してほしい。

健友館について

問：健友館はどうなるのですか。

答：健友館は、保健・医療・福祉の中で保健の一部分を担当してまいりました。健診機能がないと、早期発見・早期治療ができません。人間ドックと住民健診では、求められる機能や施設や実施方法が変わってくるので、一つの施設ですべてをやることはできないと考えています。市役所・保健課と意見交換しながら調整していきます。